

**KEIRIN**



# JKA補助事業完了報告書

実施期間 2019年4月1日～2020年3月31日

作成 特定非営利活動法人パラキャン



## 事業の実施内容及び成果に関する報告書

### 1 事業名

2019年度 スポーツ・パラスポーツ振興やスポーツ界における諸問題の解決に資する調査研究及びセミナー等 補助事業

### 2 実施事業一覧

- 1) 5月17日(金) 松原市立松原中学校
- 2) 6月11日(火) 柏市立光ヶ丘小学校
- 3) 7月06日(土) 横浜イベント(浅間台小学校)
- 4) 7月09日(火) 大阪市立西中学校
- 5) 7月10日(水) 大阪府立大塚高等学校
- 6) 7月12日(金) 柏市立大津ヶ丘第二小学校
- 7) 9月07日(土) 清瀬市立清瀬第三小学校
- 8) 9月13日(金) 世田谷区立八幡山小学校
- 9) 9月19日(木) 清瀬市立清明小学校
- 10) 9月20日(金) みなかみ町立水上小学校
- 11) 9月21日(土) みなかみ町イベント(月夜野総合体育館)
- 12) 9月22日(日) 長野県小諸市イベント
- 13) 9月26日(木) 堺市立長尾中学校
- 14) 9月28日(土) 京都市立九条弘道小学校
- 15) 10月01日(火) 堺市立福泉上小学校
- 16) 10月14日(月) 兵庫県三田市駒ヶ谷イベント『コマスポ』
- 17) 10月18日(金) 大阪府四條畷市立田原小学校
- 18) 10月26日(土) 広島県竹原市教育委員会イベント
- 19) 11月08日(金) 東京都江戸川区立篠崎第二中学校
- 20) 11月12日(火) 群馬県みなかみ町立月夜野北小学校
- 21) 12月05日(木) 大阪府和泉市立芦部小学校
- 22) 12月10日(火) 高山市立東中学校
- 23) 12月14日(土) 大分県日出町イベント
- 24) 12月18日(水) 東京都世田谷区緑丘中学校
- 25) 12月19日(木) 千葉県多古町イベント
- 26) 01月11日(土) 東京都調布市立第八中学校
- 27) 01月29日(水) 東京都品川区立御殿山小学校
- 28) 03月18日(水) HP納品

29) 03月31日(火) 報告書納品(予定)

### 3 実施内容及び成果

#### (1) 実施内容

事業開始1～2時間前に会場へ機材運搬

講師集合

打合せ

児童・生徒体育館に集合

趣旨説明

講師自己紹介(氏名・年齢・出身地・障がいを負った経緯等)

デモンストレーション(教職員を交えてのスポーツ体験)

ワークショップ(用具の工夫・違い発見)

子ども達の体験

小グループでの質疑

まとめの話

- 01) 開催日 5月17日  
 開催場所 松原市立松原中学校  
 住所 大阪府松原市新堂1-604-1  
 電話番号 072-339-2501  
 参加人数 子ども 158名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 阪根泰子、永易雄、川合裕人  
 時間 会場集合 11:00  
 開始 13:40  
 終了 15:40  
 撤収 16:00
- 反応 アンプティサッカーが、珍しかったらしく挑戦したいと、特に男子生徒がどんどん出てきて、新しいことに挑戦する気持ちが湧いたのだと感じました。
- 特記事項 アンプティサッカー準備のため早くに集合。  
 アンケート あり  
 子ども達に夢や希望そして勇気を与えて下さったこととても嬉しかったです。ありがとうございました。  
 パラスポーツや障がいとは、ではなく人として何を大切にすべきか、どう生きるかを子どもがしっかり受け止め、考えていました。素敵な出会いをありがとうございました。
- 02) 開催日 6月11日  
 開催場所 柏市立光ヶ丘小学校  
 住所 千葉県流山市向小金4-20-1  
 電話番号 04-7173-7130  
 参加人数 子ども 145名  
 ファシリテーター 高橋剛志  
 講師 石井康二  
 時間 会場集合 07:40  
 開始 08:40  
 終了 10:40  
 撤収 11:00
- 反応 消極的な生徒が多く、始めは反応も薄かったがプログラムを進めていくにつれ、元気が出てきた感じは、私達の事業が提供したい『子どものやる気』を促すことを証明したと思いました。
- 特記事項 学校に資金がなかったため、少人数で行いました。  
 アンケート あり  
 大変貴重な体験であり、子ども達の世界の見方が広がる体験だと感じました。大人の側としても、車いすの動線や、車いすの準備・運搬の大変さなど、勉強になりました。

03) 開催日 7月6日  
 開催場所 横浜市立浅間台小学校  
 住所 神奈川県横浜市西区浅間町3-237  
 電話 045-311-6648  
 参加人数 子ども 52名 大人 20名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 青木大、石井康二、  
 時間 会場集合 09:00  
 開始 10:00  
 終了 12:00  
 撤収 12:40

反応 大いに盛り上がり、子ども達は終了後も体験したがっていました。  
 保護者や校長先生も一緒に楽しんで頂け良い時間となったようでした。  
 特記事項 PTAからの希望が学校を動かして実現しました。  
 アンケート なし

04) 開催日 7月9日  
 開催場所 大阪市立西中学校  
 住所 大阪府大阪市西区千代崎3-1-43  
 電話 06-6582-5040  
 参加人数 子ども 167名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 永易雄、北間優衣  
 時間 会場集合 09:45  
 開始 10:45  
 終了 12:30  
 撤収 13:40

反応 永易講師が持参したメダルに、大人も子どもも大そう興奮していた。本物を見  
 せることのエネルギーを感じる瞬間でした。  
 特記事項 北間講師の、『私は生まれたときから障がいがあり、一度も自分の足で歩いたこ  
 とがない』という言葉聞いたときに、生徒達の姿勢も視線も一瞬にして北間  
 に吸い込まれるようになり、講演そのものが別のレベルになったような感覚さ  
 え覚えました。  
 アンケート あり  
 実体験できるのが良いと思った。

- 05) 開催日 7月10日  
開催場所 大阪府立大塚高等学校  
住所 大阪府松原市西大塚 2-1005  
電話番号 072-332-7515  
参加人数 子ども 278名  
ファシリテーター 諸隈有一  
講師 永易雄、綱本麻里、吉田高志、阪根泰子  
時間 会場集合 07:40  
開始 08:40  
終了 10:30  
撤収 11:30
- 反応 日本代表の4人の選手がいたため、代表になる為に、や目標達成というようなところに質問が集中したようでした。
- 特記事項 現役の3選手（永易雄・綱本麻里・吉田高志）とアテネパラリンピックの阪根泰子と、パラリンピック経験者を4人も講師としてお願いできることが稀有なことであり、先生方から補助のお陰だと感謝されました。
- アンケート あり  
生徒それぞれ、講師の方が話して下さった言葉の中で心に響くものがあった様です。  
障がいのある方に対する見方や物事の捉え方を変えるきっかけになったという声が多かったです。
- 06) 開催日 7月12日  
開催場所 柏市立大津ヶ丘第二小学校  
住所 千葉県柏市大津ヶ丘 4-8  
電話番号 04-7192-1120  
参加人数 子ども 66名  
ファシリテーター 高橋剛志  
講師 石井康二  
時間 会場集合 07:25  
開始 08:25  
終了 10:10  
撤収 11:00
- 反応 事前の指導が行き届いていたらしく、競技用の車いすに実際に乗れることに興味津々でした。
- 特記事項 無し
- アンケート あり  
講師の先生方がとても話しやすい雰囲気の良いと思いました。  
競技用の車いすに乗れて良かったです。  
小グループで質問ができるのが良かった（全体だと質問できない子もいるので）失礼な質問をしないか不安もあったが、温かく児童を迎えてもらいありがとうございます。

07) 開催日 9月7日  
 開催場所 清瀬市立清瀬第三小学校  
 住所 東京都清瀬市竹丘 1-15-4  
 電話 042-493-4313  
 参加人数 子ども 330名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 高橋剛志、清水健悟  
 時間 会場集合 08:25  
 開始 09:25  
 終了 11:15  
 撤収 12:00

反応 積極的に参加する意欲のある学校でした。事前指導も出来ていたように見受けられ、事後の指導で、こちらの意図している部分を掘り下げてもらえるように感じました。

特記事項 アンケート 保護者参観日あり  
 子ども達がとても集中して熱中していたのはもちろん、参観された親御さんも充実した機会にしていました。是非またお願いしたいです。

08) 開催日 9月13日  
 開催場所 世田谷区立八幡山小学校  
 住所 東京都世田谷区八幡山 1-14-1  
 電話 03-3302-2618  
 参加人数 子ども 239名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 高橋剛志、清水健悟  
 時間 会場集合 07:50  
 開始 08:50  
 終了 10:40  
 撤収 12:00

反応 元気がよく、発言はよくする生徒さん達でした。

特記事項 アンケート 保護者参観日あり  
 スポーツの紹介というだけでなくアスリートの方々の人生観、前向きな思考、強い意志などに感銘を受けました。  
 実際の試合の様態などの映像があるとイメージをつかむのに役立つ様な気がします。

09) 開催日	9月19日
開催場所	清瀬市清明小学校
住所	東京都清瀬市旭が丘 2-8-1
電話	042-493-4315
参加人数	子ども 143名
ファシリテーター	諸隈有一
講師	高橋剛志
時間	会場集合 07:45 開始 08:45 終了 10:30 撤収 11:30
反応	話を聞くよりは、自分が話したい、自分の感じたことや経験を話したい児童が多く見受けられたので、体験をメインにプログラムを変更したところ、集中力を切らす児童も少なく、最後まで全員体制で参加頂きました。
特記事項	人種差別的な発言をした児童がいましたが、それに対し先生達は何のかかわりも持たなかったのが気になりました。単に、数時間しか一緒にいない我々が、どこまで関与するべきかも悩む部分でした。 対応としては、差別発言をされた生徒に寄せた話を最後にすることにしました。人間の価値とは何か？その基礎を作るのが小学校時代であり、そこで学んだことが大人になっても生きてくるといような話をさせて頂きました。
アンケート	なし

- 10) 開催日 9月20日  
開催場所 みなかみ町立水上小学校  
住所 群馬県利根郡みなかみ町湯原 968  
電話番号 0278-72-2054  
参加人数 子ども 70名  
ファシリテーター 高橋剛志  
講師 諸隈有一、関根直樹、  
時間 会場集合 12:50  
開始 13:50  
終了 15:50  
撤収 16:30
- 反応 反応は、大変良かったのですが、特に低学年は2時間ずっと興奮しっぱなしで落ち着かせるのに労力を使いました。
- 特記事項 予定外の学年の子ども達も急に参加することになり、プログラムの変更を余儀なくされ、並び方からプログラムの順序を変えるなど本当に大変でしたが、先生達は、『やってもらって当たり前』の姿勢でした。役所を通して行う事業の一番の問題が浮き彫りになった気がします。
- アンケート あり  
座談会の時に担任と子どもと一緒にしてもらえると良かった。誰がどんな感想を持っているか知りたかったので。1・2年生も体験させていただきとても良かった。講師の皆さんのキャラがとても素晴らしかった。
- 11) 開催日 9月21日  
開催場所 みなかみ町月夜野総合体育館  
住所 群馬県利根郡みなかみ町月夜野 135-3  
電話番号 0278-62-1605  
参加人数 子ども 100名  
ファシリテーター 諸隈有一  
講師 高橋剛志、関根直樹  
時間 会場集合 08:30  
開始 09:30  
終了 12:00  
撤収 12:40
- 反応 親子参加が多くみられました。
- 特記事項 町議会議員の方の働きかけでみなかみ町でのイベントが実現しました。3×3のプロバスケットボールチームの皆さんが、応援に駆けつけてくださった。
- アンケート 新聞掲載あり  
なし

12) 開催日	9月22日
開催場所	長野県小諸市イベント
住所	長野県小諸市甲 4717
電話	0267-41-0961
参加人数	子ども 15名 大人 20名
ファシリテーター	諸隈有一
講師	高橋剛志
時間	会場集合 09:00 開始 10:00 動画鑑賞 11:30 終了 13:00 撤収 14:30
反応	協調性に問題のある参加者もいましたが、プログラムを進めるうちに、共にスポーツをする楽しさを感じ始めた様子でした。
特記事項	シュートすることに大変な集中力を発揮し、他のプログラムが始まって7号球を使ってひたすらシュート練習をしていた小学3年生ぐらいの男子児童がいました。ずっと傍で褒めたり応援したりを続けていましたが、集中力を切らすことなく、最後には、7号球がリングに届くほどになっていました。
アンケート	養護施設の子ども達を対象としたプログラムの一部だったため参加人数が少なかったが、『出来ないことを数えるより、出来ることを数える』というパラリンピックの精神を、パラアスリートから直接伝えてもらうことの重要性があると感じ、実施することに決めました。費用対効果は、良くはないかもしれませんが、この事業を行う意義は大いに発揮できたと感じています。
	なし

- 13) 開催日 9月26日  
 開催場所 堺市立長尾中学校  
 住所 大阪府堺市北区長曾根町 1179-5  
 電話 072-252-0347  
 参加人数 子ども 103名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 永易雄、  
 時間 会場集合 09:45  
 開始 10:45  
 終了 12:35  
 撤収 13:10
- 反 応 時間の経過とともに積極性が表れてきました。  
 特 記 事 項 先生達が、体験にも熱心でその熱が子ども達にも波及しているように、生徒達の熱が次第に上がってきました。やはり、先生達の気持ちや姿勢が大きく影響することが分かりました。
- アンケート あり  
 誰にでもできることとできないことがあるという事が子ども達に伝わったのではないかと思います。  
 たくさん一緒に体験できることで相互理解が深まり仲良くなれると思います。  
 良く知り仲良くなることでユニバーサルデザインが進むと思っています。
- 14) 開催日 9月28日  
 開催場所 京都市立九条弘道小学校  
 住所 京都府京都市南区西九条日町 13  
 電話 075-671-6981  
 参加人数 子ども 128名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 吉田絵里架、永易雄  
 時間 会場集合 12:35  
 開始 13:35  
 終了 15:10  
 撤収 16:30
- 反 応 授業参観の土曜日の催行でしたが、保護者の多くが楽しく参加してくれていました。  
 大人が一生懸命新しいことに取り組んでいる姿は、子ども達にとっても楽しいものだったらしく、歓声の声の絶えない2時間でした。
- 特 記 事 項 参加した保護者から、『保護者も一緒に体験出来、楽しい中に教育的の価値の有ることを盛り込んでいて良かった。』という感想を頂きました。
- アンケート なし

15) 開催日 10月01日  
 開催場所 大阪府堺市立福泉上小学校  
 住所 大阪府堺市西区上 127-1  
 電話 072-274-4611  
 参加人数 子ども 70名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 八橋龍二  
 時間 会場集合 09:45  
 開始 10:45  
 終了 12:45  
 撤収 13:30

反 応 参加者が前のめりになって話を聞いたり体験したりしてくれました。  
 特記事項 特になし  
 アンケート あり  
 大満足です。ありがとうございました。

16) 開催日 10月14日  
 開催場所 三田市親和学園駒ヶ谷体育館  
 住所 兵庫県三田市ゆりのき台 1-44  
 電話 079-565-7288  
 参加人数 68名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 横萩晃司  
 時間 会場集合 09:00  
 開始 10:00  
 終了 12:00  
 撤収 12:30

反 応 子ども達は、何度でも体験したが、親は見ているだけの家族も多かったため、保護者への参加を積極的に呼びかけたところ、保護者も大いに楽しめる体験会になったと感じました。

特記事項 親子で楽しみを共有できていたようで、最後の部分も、親子で質疑が出来、且つ子どもの質問に保護者が驚くような場面もあり、大変有意義だったと感じました。子どもの「結婚してますか?」や「トイレはどうしてしてますか?」等は、聞いてはいけない質問の様に大人は感じますが、そこそが聞くべきことで、そこを聞くことによって、「障がいがあるといっても生活方法が違うだけなのだ」という部分を理解できるようになるので、子どもの本質的な質問は、大人にとっても大変興味深いものだったと思います。逆に大人は、質問をスポーツのことに終始する部分があり、アスリートに対する興味が大きいのだと思いました。

アンケート なし

17) 開催日 10月18日  
 開催場所 大阪府四條畷市田原小学校  
 住所 大阪府四條畷市田原台4-2-1  
 電話 0743-78-1402  
 参加人数 子ども 112名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 八橋龍二、東武志  
 時間 会場集合 09:50  
 開始 10:50  
 終了 13:00  
 撤収 13:40

反応 積極的に講師と話に来る参加者が多い学校でした。  
 特記事項 切ってしまった足の断端を見せて欲しいというリクエストに講師が応えて  
 いましたが、「始めてみるものに対する違和感・恐れ」は何回か見たり  
 触れたりすることで払拭できることを教えることが出来た時間でした。  
 アンケート あり  
 今回競輪の補助を使わせていただいて密度の濃い授業が出来ていました。  
 非常に有難かったです。

18) 開催日 10月26日  
 開催場所 広島県竹原市教育委員会イベント  
 住所 広島県竹原市中央 5-1-35  
 電話 0846-22-2328  
 参加人数 子ども 70名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 杉山雅哉  
 時間 会場集合 12:30  
 開始 13:30  
 終了 15:20  
 撤収 16:00

反応 初めて体験する車いすバスケットボールや競技用車いすの試乗は、少し怖かった  
 のか、中々積極的に出来ない参加者も多い中、ボランティアの高校生がお手本を  
 示してくれたことで和やかに楽しい雰囲気体験してもらえ時間となった。  
 特記事項 高校生ボランティアが、搬入搬出の手伝いに来てくれて、助かりました。当初  
 予定していなかった、ボランティアも講師達と会話する中でスポーツにも興味を  
 持ったようで、急遽参加することになりました。 直接対話することで、障がい  
 の有無に関わらず相手に対する興味が湧いたり時間の共有を意図的にしよう  
 という気持ちが増えたのだと思います。直接対話は私達が重視する部分でもあり、  
 アスリートとしての経歴より講師の人柄を重視することは、社会変革を起こす  
 うえでも大切だと改めて感じました。  
 アンケート なし

- 19) 開催日 11月08日  
 開催場所 東京都江戸川区立篠崎第二中学校  
 住所 東京都江戸川区下篠崎町14-1  
 電話 03-3677-9531  
 参加人数 子ども 212名  
 ファシリテーター 高橋剛志  
 講師 石原正治、清水健悟、関根直紀  
 時間 会場集合 07:45  
 開始 08:45  
 終了 10:30  
 撤収 11:15
- 反応 積極的に挑戦する姿があり、色々なことに好奇心と興味を持って参加してもらえたと思います。
- 特記事項 校長先生にも楽しんで頂けたことで、生徒達も楽しんで良い時間だと感じたようでした。先生達の楽しみ方が大きければ大きいほど参加者の楽しみも大きくなる様です。
- アンケート あり  
 質疑応答（グループ毎）でのお話が、生徒の心に響く内容でした。未知なる可能性を秘めた中学生にとって、目標達成への過程を御自身の体験をもとに語ってくださったことは大きく心に残ったと感じています。
- 20) 開催日 11月12日  
 開催場所 みなかみ町立月夜野北小学校  
 住所 群馬県利根郡みなかみ町上牧 880  
 電話 0278-72-3352  
 参加人数 子ども 28名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 高橋剛志  
 時間 会場集合 07:50  
 開始 08:50  
 終了 10:25  
 撤収 11:00
- 反応 小さな学校だったので、全員が参加し全員が車いすバスケットボールを体験することが出来ました。新しいことに挑戦する楽しさを味わえたように見受けられました。
- 特記事項 特になし
- アンケート あり  
 障がい者や障がい者の活動への理解が深まる（人権意識の深まり）。  
 前向きな考え方が身につく。  
 パラキャンを通して障がい者や障がい者スポーツへの見方を大きく変えることができたと思います。

21) 開催日 12月05日  
 開催場所 和泉市立芦部小学校  
 住所 大阪府和泉市芦部町 224-3  
 電話 0725-41-0097  
 参加人数 子ども 230 名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 永易雄、川合裕人、辻井大智  
 時間 会場集合 08 : 00  
 開始 09 : 00  
 終了 10 : 30  
 撤収 11 : 15

反 応 デモンストレーションや体験等、初めてみるものに大興奮でした。  
 特記事項 特になし  
 アンケート あり  
 福祉の部分を、国語の教材も関連付けて学習させます。パラキャンの授業は、  
 体験的に学べる良い機会であると思います。

22) 開催日 12月10日  
 開催場所 高山市立東小学校  
 住所 岐阜県高山市松之木町 2962-1  
 電話 0577-32-0011  
 参加人数 子ども 410 名  
 ファシリテーター 諸隈有一、  
 講師 高橋剛志、辻井大智  
 時間 会場集合 07 : 35  
 開始 08 : 35  
 終了 15 : 15  
 撤収 16 : 00

反 応 挨拶の良くできる子ども達で、聞くところはしっかり聞く、参加するところは  
 積極的に参加するという、メリハリのある態度での参加でした。  
 特記事項 岩滝小児童との合同授業・他の学校の先生の見学あり・中日新聞に掲載  
 アンケート あり  
 子どもたちに体験だけでなく、考える時間を与えてくれたことが非常に  
 良かった。

- 23) 開催日 12月14日  
 開催場所 大分県日出町立中央体育館  
 住所 大分県速見郡日出町3884-6  
 電話 0977-72-8608  
 参加人数 小・中・高生を中心に近隣住民100名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 伊東順一郎、上野哲也、杉尾良一  
 時間 会場集合 09:00  
 開始 10:00  
 終了 11:55  
 撤収 13:00
- 反応 楽しく沢山体験してもらえたようでした。車いすバスケットボールと陸上の2種目を行ったため、子ども達は一つ終わると次のステーションというように次々と移動して何度も体験をしていました。
- 特記事項 北京の銀メダルに、参加者は老いも若きも大いに盛り上がっていました。大分合同新聞に掲載・JKAの取材あり・日出町教育委員長の視察あり。代表の江藤の声掛けで、沢山の選手の方達がボランティアとして駆けつけてくれました。北京パラリンピック銀メダリストのマラソンの笹原氏もメダルを持参して下さり、参加者に惜しげもなく首に掛けたり触ったりさせて下さいました。
- アンケート なし
- 24) 開催日 12月18日  
 開催場所 東京都世田谷区緑丘中学校  
 住所 東京都世田谷区桜上水3-19-12  
 電話 03-3303-7332  
 参加人数 子ども 110名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 高橋剛志  
 時間 会場集合 07:50  
 開始 08:50  
 終了 10:20  
 撤収 11:05
- 反応 「一生懸命」参加する姿が印象的な学校でした。
- 特記事項 特になし
- アンケート あり  
 子ども達にとっても教員にとっても貴重な時間になりました。障がいの有る方たちの生の話を聞く機会がなく、自分の生き方や物事のとらえ方を見直す時間になりました。子ども達も楽しく学習出来ました。

- 25) 開催日 12月19日  
 開催場所 多古町 4校 多胡第一小学校、久我小学校、常磐小学校、中村小学校  
 住所  
 電話  
 参加人数 小学校 4校で 650人  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 高橋剛志  
 時間 会場集合 07:30  
 開始 08:30  
 終了 15:00  
 撤収 15:40
- 反応 どここの学校も、楽しく体験してもらえました。台風の影響が無ければ、パラキャンと再会出来なかったことで、参加者は、悪いことも良いことを齎すことが有ることを理解したようでした。
- 特記事項 多古町は、昨年、一昨年と一般でお申し込みを頂き授業を行ってきました。2019年10月の台風で甚大な被害を受けた多古町へ、慰問という形で1校1時間程度の訪問でしたが、沢山の子ども達に元気を届けに行ってきました。
- アンケート なし
- 26) 開催日 01月11日  
 開催場所 東京都調布市第八中学校  
 住所 東京都調布市仙川町 2-15-2  
 電話 03-3309-4131  
 参加人数 子ども 234名  
 ファシリテーター 高橋剛志  
 講師 清水健吾、石原正治、  
 時間 会場集合 12:30  
 開始 13:30  
 終了 15:00  
 撤収 15:30
- 反応 障がい者アスリート達が、参加者が思っていた以上に格好良く見えたようで黄色い歓声が度々上がっていました。楽しんでもらえたと思います。
- 特記事項 特になし
- アンケート あり  
 少ない金額に対してこれだけ充実した活動にして頂けたことを嬉しく思います。パラアスリート一人一人と近い距離で会話・質問できたことは生徒にとって貴重な経験となった。  
 またアスリートの方々の一人一人の個性が見える展開も良かった。

27) 開催日 01月29日  
 開催場所 東京都品川区立御殿山小学校  
 住所 東京都品川区北品川 5-2-6  
 電話 03-3441-0814  
 参加人数 子ども 86名  
 ファシリテーター 諸隈有一  
 講師 高橋剛志、  
 時間 会場集合 07:35  
 開始 08:35  
 終了 10:30  
 撤収 10:50

反 応  
 特 記 事 項 全員が車いすバスケットボールを体験したがるほど、熱心でした。  
 子ども達の懇願に負けて、全員車いすバスケットボールを体験させました。  
 昨年と同じ生徒の参加でしたが、意図的に今回それを試してみたところ、  
 参加者の理解の深さに驚かされました。  
 「今日は、どんなことが分かりましたか？」の質問に対し  
 「自分がやりたいことや目標があったら、誰に何を言われてもやっても良いと  
 判った」「障がいがあっても幸せに暮らせることが分かった」等の1回の  
 事業では言葉にできにくい部分を理解していたように見受けられました。

アンケート なし



進捗状況写真

01) 5月17日 松原市立松原中学校



02) 6月11日 柏市立光ヶ丘小学校



03) 7月6日 横浜市イベント (浅間台小学校)



04) 7月9日 大阪市立西中学校



05) 7月10日 大阪府立大塚高等学校



06) 7月12日 柏市立大津ヶ丘第二小学校



07) 9月7日 清瀬市立清瀬第三小学校



08) 9月13日 世田谷区立八幡山小学校



09) 9月19日 清瀬市清明小学校



10) 9月20日 みなかみ町立水上小学校





12) 9月22日 長野県小諸市イベント



13) 9月26日 堺市立長尾中学校



14) 9月28日 京都市立九条弘道小学校



15) 10月01日 大阪府堺市立福泉上小学校



16) 10月14日 兵庫県三田市駒ヶ谷イベント『コマスポ』



17) 10月18日 大阪府四條畷市立田原小学校



18) 10月26日 広島県竹原市教育委員会イベント



19) 11月08日 東京都江戸川区立篠崎第二中学校



20) 11月12日 群馬県みなかみ町立月夜野北小学校



21) 12月05日 大阪府和泉市立芦部小学校





### 車いすバスケットボール体験 高山・東小児童

車いすバスケットボールの体験授業が十日、高山市東小学校であった。同小と同市岩滝小の全校児童計四百一十三人が選手たちの話を聞き、プレーを体験した。

来年の東京パラリンピックを前に、児童たちに障害者スポーツへの理解を深め



車いすバスケットを体験する児童たち。高山市東小で

てもらおうと、障害者スポーツの出前授業をしているNPO法人パラキャンに依頼。この日は、大阪府や福島のクラブチームでプレーをしている諸隈有一さん（右）、辻井大智さん（左）、高橋剛志さん（中）の三人が講師を務めた。

授業では、競技の特性やルールを実演を交えて説明。競技用車いすが素早くターンできるように、車輪が「ハの字」形になっていることなども紹介した。

児童たちは車いすに乗って操作を体験。スピードを出してみたり、方向転換をしたりしていた。選抜チームによる試合形式のプレーも楽しみ、シュートが決まってゴールネットが揺れると大きな歓声が上がった。

最後に、諸隈さんは「パラリンピックのもう一つの意味は、できないことを数えるのではなく、できることを数えること。それがたくましくなるための入り口」と子どもたちにメッセージを送った。東小四年の大前悠人君（右）は「試合でははね飛ばされそうになり、シュートもなかなか難しかった。車いすバスケットは迫力があって、パラリンピックも見たい」と話していた。

（加藤佑紀乃）

23) 12月14日 大分県日出町イベント



# 車いすでシュート「難しい」

「障がい者スポーツ体験講座」（大分合同新聞社後援）が14日、日出町日出の町中央体育館であった。NPO法人パラキャン（千葉県柏市）の主催。障害者や障害者スポーツに対する理解を深めてもらおうと、全国各地で講座を開いている。

町内の小学生約40人が参加した。開会式で、同法人の江藤秀信代表理事、堀仁一郎町教育長らが「有意義な時間を過ごしてほしい」などとあいさつ。県内在住

## 障がい者スポーツ体験

の車いすバスケットボール、車いすマラソンの選手が講師を務め、競技のルールや車いすの操作方法などを伝えた。

その後、参加者は両競技に挑戦した。車いすバスケットボールで得点を決めた松本真侑さん(11)は「大神小5年・顔写真」は「シュートを打つのが難しかった。みんなと楽しくプレーできました」と笑顔で話した。



車いすバスケットボールを体験する参加者ら  
|| 日出町中央体育館

24) 12月18日 東京都世田谷区緑丘中学校



25) 12月19日 千葉県多古町イベント



26) 01月11日 東京都調布市立第八中学校



27) 01月29日 東京都品川区立御殿山小学校



## (2) 成果

<参加者意見・感想等の分析と評価>

### I. 学校・主催者からの評価（アンケート調査結果）

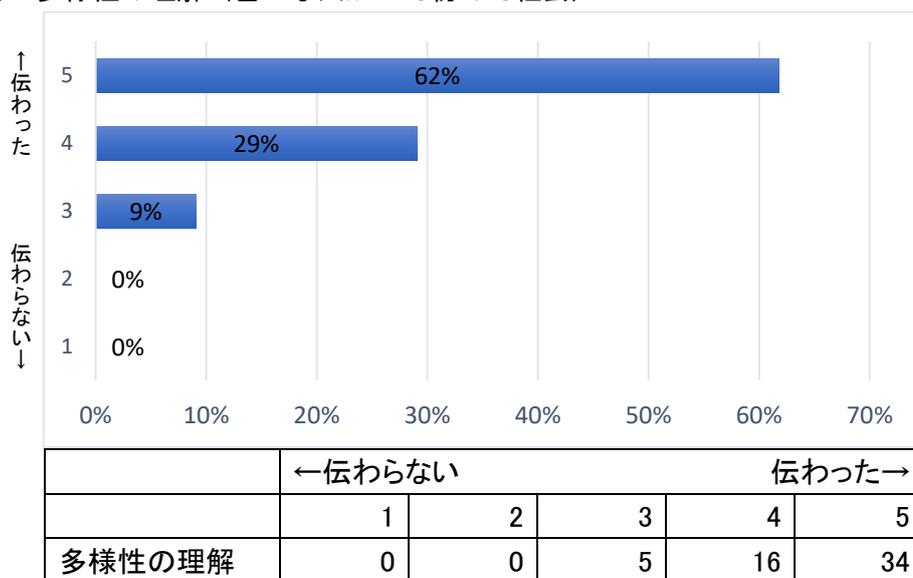
多様性の理解	249/275
共存共栄	245/275
工夫や努力	256/275
目標や夢	245/275
パラキャンの訪問授業を体験したいか	55/55

評価数は、点数×人数の総計で行いました。 回答頂いた数が 55(22 校)なので、最高点の 5 点が付けば、最大 275 点が分母になります。

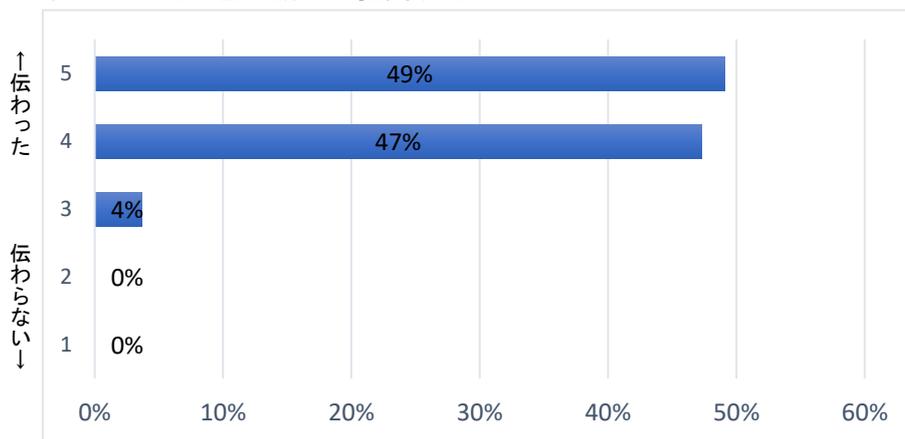
以下アンケート設問（27 校実施中 22 校・55 回答）

#### 1. 児童・生徒に伝わったと思いますか？

##### ① 多様性の理解（色々な人がいて初めて社会）

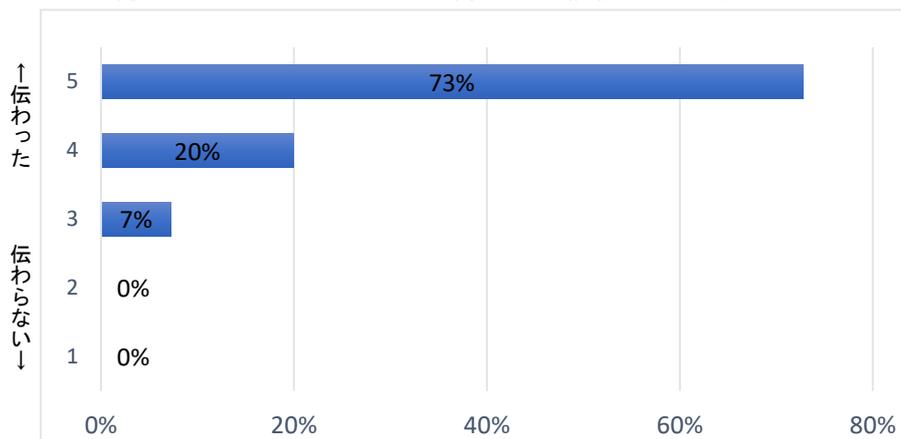


② 共存共栄（助け合い協力・強調する）



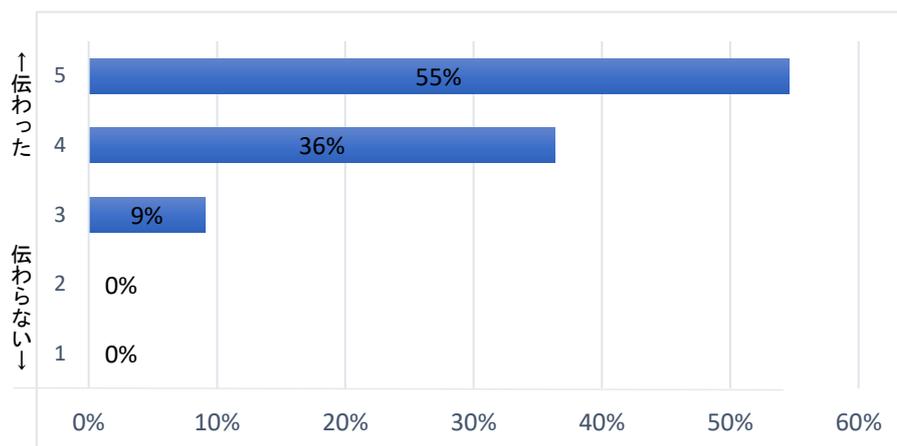
	←伝わらない					伝わった→				
	1	2	3	4	5					
共存共栄	0	0	2	26	27					

③ 工夫と努力（ちょっとした工夫や努力で可能性が広がる）



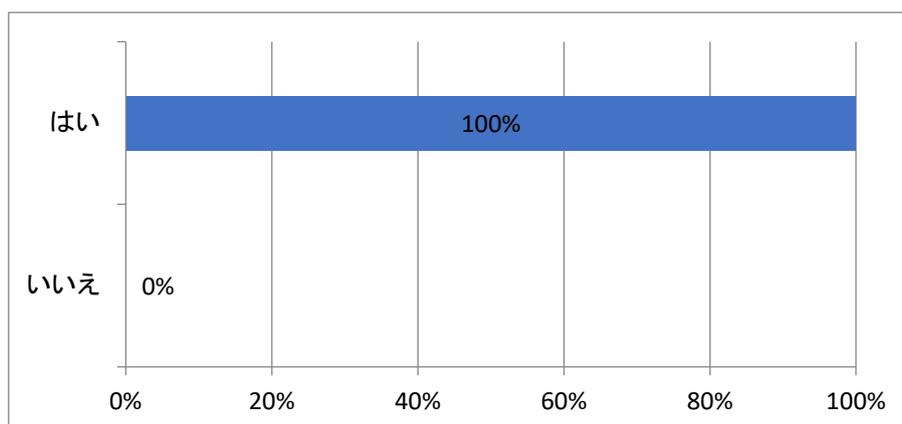
	←伝わらない					伝わった→				
	1	2	3	4	5					
工夫と努力	0	0	4	11	40					

④ 目標や夢（可能性に気づき目標や夢を持つ）



	←伝わらない			伝わった→	
	1	2	3	4	5
目標や夢	0	0	5	20	30

2. また、パラキャンの訪問授業を体験したいですか？



いいえ	はい
0	55

お陰様で、100%の回答を頂きました。理由は以下の通りです。

## はい・いいえの理由

- ◇ 子ども達のキラキラとした表情や、講師の先生方の説明の分かりやすさや明るい楽しい雰囲気を出して頂いてとてもいい時間を過ごさせてもらったと思います。
- ◇ 自分自身ももっと勉強して学ぶべきことが沢山あると思ったから
- ◇ 体験もお話ももっとじっくり見たり聞いたりしたかったです。2時間はあっという間でした。子ども達にももちろんですが、私達大人にとってもすごく貴重な時間でした。皆さんの生きる力に心打たれました。ぜひともまたお会いしたいです。ありがとうございました。
- ◇ 百聞は一見に如かずではないですが、人ととの出会いが大切だと改めて感じました。
- ◇ 出会うこと、講師の皆さんの笑顔から感じることで、それはどんな道徳的な教材もかなわないもの。貴重な体験をありがとうございました。
- ◇ 大変貴重な体験であり、子ども達の世界の見方が広がる体験だと感じました。また、沢山の子どもが車いすに乗ることが出来たり、講師の方々の明るいキャラクターで子ども達も楽しく参加できました。是非、全ての子ども達に体験して欲しいです。
- ◇ 私達が生活している社会には、多様な生活スタイルの人々がいることを、その中にはハンディキャップを持っている人も居ることを改めて気づくことが出来た。身体に不自由がある人がスポーツなどで輝いている場面を実際に魅せられて良かった。
- ◇ 子ども達にとってあまりイメージのつかない、経験をしたことがない、身近でもない、物なのでこのような機会があるととてもいい学習になるため、また多くの子ども達に体験して欲しいため。
- ◇ 頑張っている選手を見て感動していた。子どもへの接し方と話し方も上手で楽しむだけでなく学びがあった。
- ◇ 親切に分かりやすくメッセージを伝えてもらって、子ども達にも凄くためになりました。私自身も勉強になりました。
- ◇ 道徳の授業などの話で聞いて知っていると思いますが、やはり生身の人間との触れ合いの力は大きい、強いと思うからです。
- ◇ 今、生徒に伝えたいメッセージが沢山あり、とても良い体験をさせて頂いたと思いました。
- ◇ 生徒・大人にとって「人」として大切なことを感じる時間だと思ったため。
- ◇ 全ての子どもに、勇気を与えて頂ける内容だから。パラスポーツへの理解と関心が高まったと思う。そして格好良かったです！！車いすならではの迫力やスピード感など身近で体験させられるのはこの取り組みだけだと思う。
- ◇ 多様性や工夫と努力で可能性が広がるということが「出来ないことを数えるより出来ることを数えよう」という分かりやすい言葉でストレートに伝わってきてとても良かったです。また実際に体験することでわかること、気付くことが有り、競技用の車いすに乗ることによってパラリンピックスポーツの楽しさや誰もが出来る「良さ」等を身をもって感じる事が出来ました。ありがとうございました。
- ◇ 子ども達に限らず、人の身についてしまった偏った価値観が揺らぐのを感じたから。
- ◇ 講師達が、熱意をもって授業をするので、どんな内容でも生徒に意味を齎すと思います。
- ◇ 大人も子供も隔たりなくその場にいる全員が一体となって学びを得られ、充実した授業であったことが子どもの様子から見て取れた。
- ◇ 車いすバスケットを実際に体験し選手の方と触れ合うことで生徒も楽しみながら学ぶことが出来たと思います。今回初めて車いすバスケットを見たという生徒が多く障がい者スポーツを知るうえで貴重な体験になりました。
- ◇ 普段あまり考えないこと（車いす・障がい者・施設）を考える良いきっかけになったと思います。児童はもちろんのこと私自身も勉強になったことが沢山ありもっと社会のことについて考えないと

なあと感じました。ありがとうございました。

- ◇ 子ども達は何より楽しそうでした。質問等にも臆せずと言える子が多かったのでよほど雰囲気良かったのと楽しかったのだと感じています。子ども達の意識も変わったと思います。
- ◇ 沢山の人たちが生活するためには？や頑張ることの素晴らしさなど大変多くのことを学ぶことが出来たからです。子ども達はもちろんですが、大人である私自身も大変良い経験をさせて頂いたからです。
- ◇ 「福祉」や「オリンピック・パラリンピック」など、学校で学習することが有りますが、実際に体験することに勝るものは無いと感じたからです。正に「百聞は一見に如かず」だと強く感じました。講師の先生達がとてもフレンドリーというか、自然体で子どもと接して下さったことで「障がいとは特別なことではない」ということが実感として子どもの中に残ったのではないかと思います。
- ◇ 一度に多くのパラアスリートと触れ合うことができ、また、一人一人と近い距離で会話・質問が出来たことは誰にとっても貴重な体験でした。
- ◇ 質疑応答（グループ毎）でのお話が生徒達の心に響く内容でした。未知なる可能性を秘めた中学生にとって、目標達成への過程をご自身の経験をもとに語ってくださったことは大きく心に残ったと思います。
- ◇ 生徒の実態や状況に寄り添って授業をして頂いたからです。障がいについて赤裸々に話してくれたことが良かったです。
- ◇ 障がいや障がい者の活動への理解が深まる（人権意識の深まり）・前向きな考えが身につく。
- ◇ 普通の授業や生活などでは絶対に体験できないことを実際に体験出来、当事者たちの考えや思いを直接伝えることのできる良い機会だと思ったから。
- ◇ 実際に子ども達が自分で体験することで、講師の方達が経験したことしていることを理解することが出来る。子ども達は目を輝かせながらパラキャンに参加していた。
- ◇ 車いすについて、児童に質問形式で上手に教えてくれたから。
- ◇ 今回期待以上の効果があると思うので、継続していきたいと考えます。自ら考え動けるようにという指導方針も素晴らしいと思いました。
- ◇ 子ども達がパラスポーツ選手の考え方やふるまい方に触れることによって、子どもたちの人へのかかわり方や自分の気持ちの持ち方などが広がると思うから。また教師も同じスタンスで話が出来るので。
- ◇ キャリア教育として適しているから。
- ◇ たくさん一緒に体験できることで相互理解が深まり仲良くなれると思います。よく知り仲良くなるのが、ユニバーサルデザインが進むと思っています。
- ◇ 誰にでも出来ることと出来ないことがあるということが子どもたちに伝わったのではないかと思います。
- ◇ 参加している子ども達の様子から、（前のめりになって目をキラキラ輝かせている）心に訴えかける授業であると思いました。
- ◇ 出来ること、良いところを見つけようという話が良かったから。
- ◇ きっかけづくり、知る、体験する、感じる事が出来るから。
- ◇ 一年生の子ども達は一年生なりに理解していました。どの子も楽しかった、またやりたい、来てもらった皆さんがすごいと言っていました。今後、設問1の①～④につなげていくベースとなる貴重な体験になりました。
- ◇ 「出来ないことより出来ることを数える」子ども達がポジティブになれる言葉を教えて頂きました。
- ◇ 今回までにも複数回、訪問授業をお願いしていましたが、どの回も子ども達が前のめりに参加して

積極的に学んでいるからです。

- ◇ 体験したり、触れたりしながら実際に見聞き出来たから。
- ◇ 子どもの物事に対する考え方が大きく変わった気がします。
- ◇ 子ども達が障がい者スポーツを通じて世の中には様々な人がいるということ、またその人たちと共に助け合いながら生きることの大切さを学べたと感じた。
- ◇ まだ思考が柔軟な小学生にとってこのような体験をすることは、障がい者に対する偏った見方をなくすために大変意義のあることと感じました。
- ◇ 話の内容、体験とも興味深く子ども達も沢山の刺激があったようです。ただ、上記①～④を深く考えられなかった子供もいたような様子だったので、事後に学習したいと思いました。
- ◇ 子ども達にとって色々初めての経験が多く、時間が過ぎるのが早く感じました。4～6年生に混じっての参加でしたので、また機会があればゆっくり参加出来たら良いと思います。
- ◇ 講師の先生方がとても明るくてその雰囲気の中で大切なことや伝えたいことを言っていたのでとても良かったです。
- ◇ 子どもたちの作文からただ体験しただけにとどまらない色々な気づきがあったと感じたため。
- ◇ 楽しく体験ができ、差別や偏見のない社会というのが会場全体に広がり良いところをさがす、出来ることを認めるといった関係を直に感じる事が出来たから。
- ◇ 福祉や人権の学びに繋がる貴重な体験ができるため。
- ◇ 今回は実際に車いすで生活されている方と触れ合い、教室で学ぶことのできない体験をすること、沢山のことを感じる事が出来たと思います。お世話になりました。貴重な体験本当に有難かったです。
- ◇ 見たり聞いたりするだけでなく、実際に子ども達が体験できたことでより理解が深まったと思う。
- ◇ バスケットに限らず、他の種目も体験できると子ども達の理解がさらに深まると思うので。
- ◇ 一年生の児童も興味を持って話を聞き内容がよくわかっていました。
- ◇ 障がいの有る方のイメージが変わりました。私達よりはるかにエネルギーにあふれていて、前を向いて生きていっしょにやることが伝わってきたからです。もちろん、全ての方がそうではないのですが、元気を貰えることは間違いないことです。
- ◇ 車いすバスケの競技の面白さが見ていても体験していても伝わってきて子ども達がまたやりたいと思ったから。スポーツを通して何事にもチャレンジすることや人とのかわり方などについても子ども達に伝えてくださり、とても良かったから。
- ◇ スポーツ紹介というだけでなく、アスリートの方々の人生観、前向きな思考、強い意志などに強く感銘を受けたから。
- ◇ 実際にスポーツをしている人の話や実技から学ぶものが多かった。具体的な話が多かったので小学生にも分かりやすかった。全員競技用車いすを体験できたことが良かった。話、実技の時間配分が適切で児童が飽きずに参加できました。
- ◇ 子ども達の視野が広がる良い経験となったと感じたから。
- ◇ 子ども達が集中して熱中していたのはもちろん、参加された親御さんも充実された機会にしています。是非またお願いしたいです。

3. その他、感想や今後の要望ご意見をお聞かせください。

- 生徒の笑顔が一段と輝いていました。本当に素敵な時間をありがとうございました。
- トップアスリートの姿に触れることができ、本当に良かったです。頑張ってください。
- 楽しく学びの有る貴重な機会になりました。ありがとうございました。
- 本日はありがとうございました、生徒夫々、講師の方が話して下さった言葉の中で心に響くものがあったようです。障がいの有る方に対する見方や物事のとらえ方を変えるきっかけになったという声が多かったです。
- 講師の先生方がとても話しやすい雰囲気、良いと思いました。競技用の車いすにも乗ることが出来て嬉しかったです。質問コーナーの時に、失礼な質問等をしていないか不安ですが、暖かく児童を迎えてくださりありがとうございました。
- 小グループで質問が出来るのが良かったです。全体の場だと発言できない人も居るため、そういった形の進め方が良いと思います。ありがとうございました。
- 来るアイスに一人一人乗る時間をとって頂き、ありがとうございました。バスケや鬼ごっこの時間を細かくねり、一人一人こちらも少しでも体験出来たら幸いです。子ども達への話し方など大変親しみやすく、教室でもたくさんの感想を述べていました。ありがとうございました。
- 我々教師も参加（体験）させて下さい、とても良かったです。そして勉強になりました。「出来ないことを数えるよりも出来るところに目を向ける」というのは、我々にとっても非常に重要な姿勢だと思いました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。
- 今後パラリンピックについて調べたりユニバーサルデザインについて考えたりして、総合の学習にもつなげていきたいと思っています。沢山の質問にも答えて下さり本当にありがとうございました。
- 少ない金額に対してこれだけの充実した活動になったことを嬉しく思いました。パラアスリートの方々の一人一人の個性が見られる展開も良かったです。ありがとうございました。
- 本当にありがとうございました。今回の授業を踏まえたうえで、来年度の企画を立てて頂けたらと存じます。楽しみにしております。
- 次年度は、種目を変えて様々なことを学んでほしいと感じた。
- パラキャンを通して、障がい者や障がい者スポーツへの見方を大きく変えることが出来たと思います。
- 高橋さんと諸隈さんは、パラ種目の楽しさや人が持っている可能性について真正面から子ども達へ教えて下さり大変お世話になりました。今回の体験を通して子ども達の中にも何かしら残ったようです。素晴らしい授業をありがとうございました。
- このような機会を与えられて感謝でした。子ども達の心の中には、今日の出来事が深く残ったと思われる。彼らがこれから生きていく中で様々な人と出会い関わるうえで、今日教えて頂いたことが生かされていくと良いなと思いました。
- 自分や相手の良い点に目を向けることの大切さを教えてくれた。とても素晴らしい訪問授業だった。
- パラリンピックの意義は、障がいの有る無しに関わらず、自分の持てる力を生かして挑戦しようとする事と自分もとても勉強になりました。
- 出来ないことを数えるのでは名kう、出来ることを増やしていく。とても素敵な言葉ですよね。担任している難聴学級の子も達にも心にしみていたように思います。夫々の個性があり、支えあうことの意味も考えてくれると良いなと思いながら今日は参加させて頂きました。ありがとうございました。

- 車いすで車を運転されているとの話のとき、だから障害者用駐車場は、広いんだということ言って頂いたら良いと思いました。貴重な体験ありがとうございました。今後のご活躍をお祈りします。
- 子ども達も楽しかった！また見たい！と言ってました。ありがとうございました。
- ありがとうございました。とても分かりやすくお話をして頂きました。あと、分かったつもり、知っているつもり、やっているつもりという自分自身の身勝手さにも気づかされました。不愉快な思いをさせたこと書面で失礼ですが、すみませんでした。
- 運動会に合わせて、今週、オリンピックやパラリンピックの内容を道徳化で取り扱ったところだったので、子ども達が興味を持って取り組みました。今後は、子ども達が得た前向きな感想を①～④につなげる指導をしていきたいと思いました。
- 大変満足です。ありがとうございました。
- 今回競輪の補助を受けさせていただいたことで、密度の濃い学習が出来ていました。ありがとうございました。
- 座談会の時は、担任と子供と一緒にしてもらえればと思います。誰がどんな意見を持っているか知りたいので。
- 1～2年生も体験させ頂きとっても良かったと思います。講師の皆さんのキャラがとても素晴らしかったです。
- 明るい雰囲気の中、どの子も安心して体験したり、学ぶことが出来ました。教える側の人間としても参考になりました。出来るところを一人一人伸ばしてあげたいという思いがより強くなりました。ありがとうございました。
- 夫々の学年に合った分かりやすい体験をしてくださりありがとうございました。子ども達が本当に楽しそうに取り組む姿が見られ、良い体験ができたお供居ました。
- 担任としては、自分の学級の児童の質問の様子が見たかったです。子ども達がどんなことを感じたのかを知るためにも、自分の学級に付きたいと感じました。情報の共有は自分の学級にいても他の学年一会も出来ることと思います。色々と失礼な質問等あったかと思ひます。申し訳ありませんでした。
- 貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。
- 講師の方々の前む浮名考え取り組みに励まされ、とても良い経験になりました。
- 他の競技の魅力や見どころなども知りたいです。
- 子どもだけでなく、大人もとても楽しく盛り上がり、そして熱くなる授業でした。ありがとうございました。
- これからも人としての生き方の伝道師として頑張ってください。
- 思い付きですが、本物の選手による車いすバスケの試合の様子が分かる映像があると迫力が伝わりよりイメージがつかむのに役立つような気がします。
- 選手の皆さんが、明るく楽しくポジティブに障がいやパラスポーツについて花hしてくださったので子ども達の受け止め方もとてもポジティブでした。ありがとうございました。
- 大変ありがとうございました。パラリンピックやその他でもご活躍を心より楽しみにしております。応援しています。

## II. 分析

### ① 多様性の理解

多様性の理解に関しては、この時間だけでなく、更に事後指導の中で先生に深めて頂く部分でもあります。どのように深めるか？等を、事前事後資料の中で言及することで、先生達にもこの事業の意図するところがより深くご理解頂けると思います。

### ② 共存共栄

この項目では、もう少し児童・生徒に質問する形で「気づき」につなげることが必要かと思っています。車いすの説明や競技の説明は、「沢山の人の意見や協力で素晴らしいものが出来ている」、に落とし込んでいきたいのですが、参加している大人も子供も、競技ルールや用具説明の部分だけで納得してしまい、そこから深く考える部分に至っていないようです。「誰が考えたか？」「どうやって生み出されたか？」等の質問を入れていくことでより深い学びになるようにしていきます。

### ③ 工夫と努力

「出来ないことを数えるよりも出来ることを数える」というメッセージは、直接的にこの部分に働きかけているので、良く伝わっていると思います。多くの場合、子どもの時に「諦めてしまう」癖がついてしまうため、自己肯定感が持てない大人が増えてしまうのだと思います。子どもの時に、「工夫すればきっとできる」の考え方や気持ちを身に着けられると、頑張れる大人に成長できるのではないかと期待します。

### ④ 目標や夢

どんな些細なことでも、「やってみたい」という気持ちがあればそれが目標になり、それを実行できた時に達成感があり、次の目標も見えてくるのだと思います。夢や目標を持つ大切さや、高いものを掲げる前に、身の回りにある小さな「やってみたい」を形にし、そこから発展させることが重要です。この事業の中に、それらがちりばめられていたと思います。

## III. 結論

どの項目においても、発展的な意見が多く、事業の目指していた「パラスポーツ」教育を超えた事業を提供できたと考えられます。事前・事後指導の案内だけでなく、授業が始まる前に、担当の先生には、この事業の夫々の部分における意味をお伝えし、どのように学校生活・クラス経営の中に取り入れて頂けるかを口頭でもお伝えしています。しかし、先生達のご意見を見ると、この事業の理解から程遠いところの方もいらっしゃるようでした。事業の大事な部分として、先生達がこの事業を後日、何度でも事業やクラス経営に利用できるような物を、簡単で分かりやすい方法でお渡しできるようにすることも今後視野に入れていきます。

### ●参加生徒の感想より

- ◇本日2回目の体験でしたが、あらためていろいろなことがわかりました。そして習ったことをいかながら生活をしたと思いました。
- ◇怪我や足が動かなくなってしまうと楽しくない生活をおくるのかと思ったけれど、話を聞いていると、とても楽しそうにしている私もこれから何があっても出来ることを探して前向きにいろいろと授業を受けて思いました。
- ◇車いすバスケの体験や車いすのリレーも楽しかったのですが、何よりも心にささったのが、「できないことよりもできることをみつけよう」というのです。たしかに何でもやってみようと思うのがいいと思います。
- ◇「不自由」ではなく、「自由」が障がい者にあることを知るきっかけとなりました。パラリンピックの意味「できないことよりできることを教えよう」がしっかり理解できました。これから、この言葉の本質を見ぬきながら、生きていきたいです。
- ◇四年生の時はただすごいなと思って見ていただけだったけど、今年は色々なことが学べました。まず1科目。「できないことよりできることを教えよう」去年はほとんどへーと思って忘れてしまっていたけれど、今年はしっかり覚えて大切なことだと心に留めておくようになりました。2科目は「大差無い」ということです。もし世界がちがって私たちが障がい者だとすれば、どこが無くてもどこが動かない、というのは目の色、かみの色、はだの色の違いになります。色のちがいと障がいのちがいは大差無く、みんな一緒だとよくわかりました。かわいそうと思うのは失礼だし、それを言うのも失礼だ、と考えるより差を考えないことが大切だとわかりました。
- ◇物事をマイナスに考えてしまうことが沢山あります。運動が苦手でも何をやってもなかなかうまくできなくてあきらめてました。「いっしょにがんばろう」と友だちが言って発展までできました。やっぱりあきらめないできないことを数えるよりできることを数えることは大切だと思いました。これからもそのことを意識して前向きにとりくもうと思います。
- ◇心に残ったことは、障がい者は「不自由」ではなく、元気で何かをチャレンジしないほうが「不自由」だということです。そして、「障がい者も同じ人」ということはあたりまえと思っていても、いつもは忘れがちなことだと気付きました。
- ◇驚いた事は、試合中に障がい者という事を忘れてしまう事です。私はよく電車に乗っているのですが、よく車いすの人に会います。その時私は「かわいそう」「痛そう」と思ってしまいます。ですが、この授業をして、その考えをなくそうと思います。そして車いすバスケの他に「ブラインドサッカー」「ポッチャ」「車いすラグビー」など色々なだれでもできる競技をやりたいなと思います。
- ◇体験を通して「不便」でも楽しくできるんだと思いました。車いすバスケをやっているくまちゃんも笑顔で面白い話をしていて、一般の大人の人だと思い込んでいました。また、夢をあきらめないということを教えてくれて、とても役に立ちました。
- ◇「交通事故で足をなくした」という言葉を聞いておどろきました。自分も痛いし、怖いし足がなくなったという事実を受け入れるのも難しかったことだと思います。それでも生きる希望をなくす人じゃなくて、車いすバスケを始めたのはすごいと思います。「できないことを数えるよりできることを教えよう」わたしもこれを意識していきたいです。
- ◇この体験でよく分かったことは、できない時こそあきらめるのではなく練習してうまくなるということです。こんどできないことがあったら、チャレンジしてみたいです。
- ◇車いすは不便だと思ったけど、くまちゃんの話聞いてこれが普通なんだなと思った。それにみんな違う方法で生きているんだなと思いました。試合も実際見に行きたいです。

#### 4 事業実施に関して特許権、実用新案権等を申請又は取得したときはその内容

無し

#### 5 今後予想される効果

この事業をより多くの人達に届けることで、多くの人々が、障がい者もスポーツが出来ることを知るようになり、障がい者と健常者の違いは、生活方法だけであることを理解出来るようになります。それによって、多様性理解へと繋がり障がいの有る人たちが生活しやすい環境が整ってくると考えます。もちろん、今、車いすの人を利用させないと言っている体育館も車いすをはじめとする障がいの有る人達を受け入れざるを得ない社会へと変化していくと思います。

#### 6 本事業により作成した印刷物

JKA補助事業完了報告書

#### 7 報告事項

##### (1) 審査・評価委員コメントへの対応状況

今回は特にコメントを頂いておりません。

##### (2) 継続事業の成果と意義

東京大学の星加良司准教授の提言通り、「障がいは個人の問題ではなく社会の問題である」ということを、この事業を通して子ども達に伝えていきます。人は誰でも得手不得手があって当たり前です。その「不得手」が、一般社会のルールの範疇であれば、問題なく生きてけますが、もしそれが範疇外であれば忽ち、不都合なことが多くなってしまふ、生き難くなってしまふというのが現状です。そのような不都合を抱えながら生きていく子ども達、そしてそれを取り巻く一見「普通」に見えるが、実は、問題を抱えている全ての子ども達に、大きな問題提起をし、それを解決していくための意識付けをこの事業で行っています。

昨年度・今年度と2回、品川区立御殿山小学校の生徒に事業を提供しました。意図的に、同じ生徒に事業を提供したところ、参加者の反応が1回しか受けていない参加者とは大きく違うのが分かりました。事業の始めに、「何か覚えている？」と聞いたところ、ほとんど覚えていることはありませんでした。しかし、完全に忘れていたのではなく「意識下にはない」というだけだったことは、アクティブラーニング形式で授業をしている中で直ぐに分かりました。例えば、「普段用の車いすと競技用って、何がどうして違うんだっけ？」という問いかけに、最初は形状から入り、どんどん、自分たちから理由まで上げました。「それが分かって、どうするんだろう？」という問いかけに、「自分が障がい者になったときに役立つ」「障がい者の気持ちが分かる」等の表面的な回答もありましたが、次第に、「出来ないことも工夫したら出来るようになる」や「他の人に何を言われても、自分がやってみたいことは、やっても良い」というような意見が沢山出来てきました。障がい者を単なる「哀れみ」の対象から「生活方法の違い

う人」と見だし、それを自分たちの生活に生かすということがこれらの意見に集約されているように思えます。感想文にも、それらの意見が如実に表れています。

この事業は、何回か受けることで、その人の現状に合った意味を夫々が見出すことが出来、共生社会へとより近づけるのだと確信しています。この事業は、パラリンピックを単なるスポーツイベントとせず、社会の進化・変革の為に活用できるツールだと自負しています。

### (3) その他

#### NPO法人パラキャン評価委員会の評価

今年度はオリンピック・パラリンピックの開催を目前に、特に関心が高まった年となり、すでに来年度の申し込みも多数来ています。

本事業は子どもたちが引き込まれる魅力があり、始まりから終わりまで子どもたちの集中が切れることなく、楽しんで体験をしていることが伺えます。それだけでなく、過去 20 年の中で培ってきたノウハウを活かし、相手の反応によって臨機応変に対応していることも、飽きられずに継続して事業を実施できている証と推察されます。

本事業は、2020 年オリンピック・パラリンピックを機に、更なる飛躍を遂げ、未来を担う多くの子どもたちが、パラリンピアンや障がい者アスリートと接することで、多様性を理解しユニバーサル社会を実現する後押しをしていける存在であると言えます。

記 評価委員 柴田 寿

## 事務局総括

今年度も、沢山の方の御支援の下、無事事業を終了することが出来ましたことを御礼申し上げます。2019年度初めに、JKA様の補助を頂けることが決まり、遠隔地へ積極的なアプローチを掛けることが可能になりました。その結果、今まで事業を行えなかった広島県竹原市、長野県小諸市、群馬県みなかみ町、大分県日出町などの地域に事業を届けることが出来ました。

当法人のparasportsを媒体としたプログラムのユニークさと、「経歴・タイトル」ではなく「人」を重視した講師選びは、多方面で高く評価いただいています。学校に行くことで、講師陣は、パラキャンのプログラムにそれぞれの想いを乗せ、各現場で最大の物を提供できるように考えてくれるような人材に育っています。

子どもの教育に予算の付きにくい現状で、財団法人JKA様の補助事業に採択していただいたおかげで、沢山の子ども達が、「自分もやれる」「やっていい」という、目標に向かう気持ちや自分への許可、そして「色々な人がいる」ことを体と心で理解できるきっかけを作って頂けたと思います。この機会をくださいました財団法人JKA様に心より御礼を申し上げます。parasportsの普及啓発は、それだけに終わらず、社会の変革をもたらすと事業を継続する中で確信しています。この事業を通じて、沢山の子ども達がスポーツだけではなく様々なことにチャレンジできるような社会形成に役立てるよう、事業の発展と継続に力を入れていきます。